

地方学術会議委員会（第24期・第7回）議事要旨

1. 日時：令和2年7月8日（水）15：00～17：00

2. 場所：（オンライン開催）

3. 出席委員（配付名簿登載順）：渡辺委員長、伊藤副委員長、石塚幹事、佐藤委員、戸田山委員、藤原委員、三成委員、武内委員、山極委員、相田委員、君塚委員、岸村委員

4. 議事概要

5月の日本学術会議幹事会で新たに就任した4名の委員を含む全委員がオンラインで参加した。冒頭、各自自己紹介の後、次のとおり審議を行った。

(1) 今期（第24期）既開催の地方学術会議の総括

京都、北海道、富山において実施された地方学術会議について、各地区の所属委員等から開催概要や課題等が報告された。

地域のリーダーや地域在住の会員、連携会員等との対話の重要性など、地方学術会議の開催意義に関する認識を共有した。

(2) 次期（第25期）地方学術会議の進め方について

次期に地方学術会議を引き継ぐにあたり、これまでの地方学術会議の開催実績を踏まえ、地方学術会議と地区会議の関係、実施主体、実施内容等について審議を行い、以下について合意した。

- ・ 実施主体として、「各地方の会員、連携会員の所属機関など」に加え、日本学術会議の核としての幹事会（懇談会）を加える。
- ・ 幹事会懇談会構成員と地域の産業、行政等のリーダー、当該地区の会員・連携会員・若手研究者との対話を地方学術会議の中核的なミッションと捉え実施していく。
- ・ 地域における学術振興促進や、市民との対話の重要性についても認識を共有した。

(3) 次期への申し送り事項について

これまでの開催実績を踏まえ、次の事項等を次期への申し送り事項とすることとした。

- ・ 歳出予算の費目構成の改善
- ・ 長期的な開催計画策定の必要性
- ・ 開催意義に関する概念として上記4（2）記載の各事項等
- ・ 次期における当面の開催予定（九州地区を2021年1～3月頃、東北地区におい

て2021年末から2022年初頃に開催。また関東地区において東京以外の関東圏内各県において開催することを検討)

- ・ その他

(4)「日本学術会議 in 山口」の開催について

新型コロナウイルス感染症の影響により延期(当初2020年3月に開催を予定)となっている標記山口での開催について審議し、次のとおり合意した。

- ・ 新型コロナウイルスの感染状況等を慎重に判断しながら幹事会懇談会を山口において実施する。
- ・ 会長スケジュール等を考慮し、本年9月27日(日)に開催することを、受入れを担当いただいている山口大学に打診する。
- ・ 対面での開催が困難と判断される場合は、オンラインでの開催とする。
- ・ 講演会の実施の有無、行う場合の開催方式等については山口大学側においてご提案いただき検討する。

以 上